



<月のテーマ：気づく>

年齢別 月の保育のねらい

<0歳児>

- 周りの様子に気づく。
- 気持ちを受け入れられ、安心感を覚える。

<2歳児>

- 自然の中で花や虫を見つけ、保育者に伝えようとする。
- 自分の思いを自分らしく表現する。

<3歳児>

- 簡単なルールのある遊びやごっこ遊びを通して友だちとのかかわりを楽しむ。
- 落ち着ける場所や好きな遊びを見つけ遊ぶ

<4歳児>

- 友だちや保育者と関わり遊ぶ中で自分の気持ちを相手に表現する。
- いろいろなことに興味や関心を持って遊ぶ。

<5歳児>

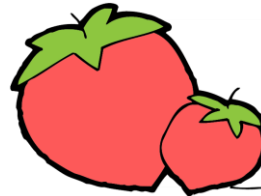
- 遊びの中で予測をしたり試したりする。
- 遊びや活動を通して友だちの気持ちや考えに気づく。

<学童>

- 保育室での生活リズムをたて立て直し、自分で時間を使うことができるようになる。

(学校の登校自粛により保育室での時間が長くなる)

- ・保育室に来る → 宿題をする → おやつを(作る)食べる → 遊ぶ
- 片付ける → 昼食を食べる → 遊ぶ → 片付ける → おやつを食べる → 遊ぶ
- 片付ける → お迎えが来て帰る



<5月の歌>



世界中の子どもたちが

<風を感じて・・・>



季節の良いこの時期に新型コロナウイルス感染症拡大防止のための自粛が続き、こもりがちになっている子どもたちです。室内で思う存分体を動かしてはいますが、やはり、外の空気は別です。

四月の終わりの日、30日(木)、新聞を使って凧作りをしました。完成した凧は、保育室内で飛ぶかどうか確かめてから、家に帰ってから飛ばす・・・と考えていましたが、子どもたちはウズウズし始め、「外で飛ばしたい・・・」そうですよね。外で飛ばしたくなるのです。それも飛ぶ凧だとわかったらなおさら、外で飛ばしたいのです。

気温も高くなって暖かな感じで、時々風が吹く、凧飛ばしには絶好の条件がそろっていました。最初は、走って飛ばしていた凧でしたが、風に上手く乗せると飛ぶ凧に気づき、風の向きを感じながら走らないで飛ばすことにチャレンジを始めました。意外にも3歳児のMくんが上手に風に乗せ飛ばし始め、5年生のNちゃん、1年生のSちゃんが風の向きを感じながら凧を上手に飛ばすことができるようになりました。「家に持って帰っていい？」凧飛ばしが楽しかったようで、家でも挑戦する気持ちが一杯で、家に持ち帰りました。凧は上手に飛ばすことができたかな？